

釧路湿原川レンジャー News

2010 Vol.1

今年度は140名が釧路湿原川レンジャーに登録

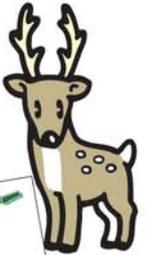
釧路開発建設部では、平成12年度から釧路湿原の良好な河川環境づくりに地域住民が参加するボランティア活動「釧路湿原川レンジャー」を進めております。

平成22年度の釧路湿原川レンジャーを募集し、釧路湿原の周辺に住む小学生から高齢者まで幅広い年齢層の市民が参加し、今年度は140名が登録されました。その内、126名の方が継続登録され、その中の19名の方は平成12年の発足から連続登録されています。

日常の観察活動では、ゴミの不法投棄や動植物・危険箇所など34件（前年度比11件増）が報告され、年々報告件数が増加しており、河川管理に役立っております。

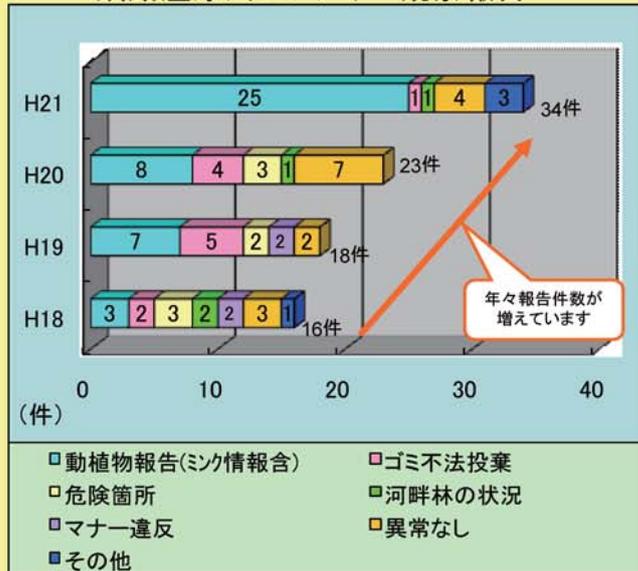
平成21年度は4回の学習会を開催し、釧路川の植樹や水質調査、旧川復元事業の現地視察、タンチョウの学習などの活動を行いました。

釧路湿原は今年でラムサール条約登録30周年を迎えました!!



《観察活動》 日常生活において釧路湿原や釧路川に出かけた時に状況を観察し、異常があればその内容を連絡して頂きます。
 ※川レンジャーの方々からの情報が河川管理に役立っています

釧路湿原川レンジャー観察報告



主な観察報告



ゴミの不法投棄を発見しました(釧路市 男性)

- ・キラコタンでヒグマを見ました。(釧路市 男性)
- ・温根内で野犬を見ました。(釧路市 男性)
- ・新釧路川で6羽のオジロワシを見ました。(釧路市 女性)
- ・サルルン展望台で大木が2本切られていました。(釧路市 女性)

《学習活動》 釧路湿原や河川環境などについて、より理解を深めるための学習会や体験活動を年に数回開催する予定です。



平成22年度「釧路湿原川レンジャー」認証式が行われました

今年の釧路湿原川レンジャー活動が始まりました

平成22年度「釧路湿原川レンジャー」の認証式が5月31日、35名が出席して釧路地方合同庁舎会議室で行われ、平成22年度の釧路湿原川レンジャーの活動が始まりました。認証式では、釧路開発建設部佐藤久泰次長から出席者の一人ひとりに認定証が手渡されました。

佐藤次長は、「日本で湿原といえば釧路湿原を指すほど、日本を代表するこの湿原を、50年後、100年後の子孫にこの環境を伝えるため、皆さんの熱心な活動をお願いします」と、挨拶されました。

事務局から、釧路湿原川レンジャーの活動内容や学習活動、今年度の予定などの説明があり、新たに認証を受けた川レンジャーは、釧路湿原の環境保全を誓いました。



12年から連続で登録されました



夫婦そろって昨年から引き続き登録されました

認証式の様子が新聞で紹介されました

金川 路各 乗新 厚野 平成22年(2010年)6月2日(水曜日)

釧路湿原の環境保全誓う

川レンジャーに140人

釧路開発建設部(安田修部長)は5月31日、釧路地方合同庁舎で、2010年度釧路湿原川レンジャー認証式を行い、新たに認証を受けたレンジャーが、釧路湿原の環境保全を誓い合った。(花城 慶)

開建が認定証

釧路開建が09年度から始めた川レンジャーは、釧路湿原の周辺に住む小学生から高齢者まで幅広い年齢層の市民が参加し、今年度は140人が登録した。川レンジャーは日常生活で釧路湿原や川の状態を観察し、気付いた異常を報告する活動や、湿原や河川環境について理解を深める学習活動を行う。

09年度は、レンジャーからみれば不法投棄や伐採場所を、報告書が84件(前年度比1件増)と増加している。認証式では、佐藤久泰次

長が「わたしたちは釧路川を流す水が、50年後、100年後の子孫にこの環境を伝えるため、皆さんの熱心な活動をお願いします」とあいさつし、続いて事務局が、懇話活動に使う「釧路湿原マップ」を説明。今年度の学習活動は、8月の種や8月の標茶町の水生動物調査を、全ま回を定めている。今年度目標の登録となる釧路市の民間団体の数は、地元市民が環境保全に気を配ることを呼びかけ、レンジャーとして登録を受け、光栄に感じている。

佐藤次長から認定証を受け取る釧路湿原川レンジャー登録者



活動についての説明を聞く参加者



5月31日 認証式に出席した釧路湿原川レンジャーの皆さん

